

20の リレートーク



佐藤 妙子 さん
郡山市在住
(上飯樋出身)

◆看護師を目指して

私は今、看護師・保健師を目指して勉強しています。私が看護師になろうと思ったのは高校の時でした。ボランティアサークルに所属し、老人ホームなどで高齢者の方々とふれあう機会があり、私自身、人のために何か出来る職業につきたいと思い看護師になろうと決めました。

看護の勉強をして3年目となる今、病院実習などを重ね、いろいろな患者さん

との出会いがありました。看護の勉強は思ったより大変で「私は看護師に向いているのだろうか」と戸惑うことも何度かありましたが、そういう時に患者さんが元気になっていく姿を思い出し、自分の励みにして頑張っています。これから数多くの人との出会いがあるとありますが、一人ひとりととの出会いを大切にしていきたいと思っています。身体が病んでいる患者さんは、心も病んでいることがあります。私は、身体面でのケアだけでなく、心のケアもしていけるような看護師になりたいと思っています。

最後に、飯館は自然に囲まれていて空気や水がおいしく、星がきれいで、私にとって心が落ち着く場所でもあります。いつまでも、この雄大な自然を大切にしたいってほしいと思います。



「家族をつくっていく時代」

総勢130人が参加した「第3回村民ふれあい号」は、「こんなに楽しい旅は初めて」「もつと早く参加すればよかった」「3回だけでは惜しいよ」などの声が聞かれる中で、盛会に終了できました。村では、今第5次総合計画づくりや合併問題など、大変重要な時期にさしかかっている時だけに、バスの中で村の現状をお話できる機会をいただいたことは、願ってもないことでした。

そしてもう1つ、とてもうれしいことは、何と24組もご夫妻での参加があったことです。

1回目は16組、2回目は19組でしたから、年々増え続け、ついには24組にまで増えてしまったのです。

24組は48人ですから、約4割の方が二人で仲良く参加していただいたことになりましたね。

近頃、村内でも離婚が多く、とても心配しているところです。結婚する方が少ない上、さらに離婚も多いということは、村にとって頭の痛いところですが、なにせ個人のことで、それぞれの夫婦、家族のことですから、いかんともできません。

ですから、この村民ふれあい号のように、先輩の方から率先して夫婦での共通体験を仲良く積み重ねていただくことが結婚難の解消や離婚の防止につながっていくのではないのでしょうか。

私がこれからは「家族をつくっていく時代」と言っているのはこういうことなので、とてもうれしい旅でした。

平成15年10月31日

飯館村長 菅野 典雄